

前回推進委員会終了後のご意見・ご要望について

提出委員数 4名（13名中）

※ご意見等の内容については一部要約しております。

1	
意見・要望	<p>●質問</p> <p>今回の見直し議論は専ら人口減少⇒財政悪化⇒存廃等見直しという方向でのものである、施設の目的別分類や政策実行上の必要性、施設の所期目的の環境変化等からの存廃の方向性が必要、ハード（施設）のみでなく、ソフト（施策、行政サービス）からの必要性や運営方法の見直しの議論が必要と思い、以下の資料を希望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設を分類した資料 ・改修、建替えを要する施設の耐用年数経過、緊急性の順に分類した資料
対応	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の分類については、公共的—市場的、必需的—選択的等の分類方法により可能ですが、今回の取組みでは施設所管課を中心に施設毎に耐用年数経過、補助制度、老朽度、利用実態等を総合的に勘案し、緊急性も考慮し管理方針を策定しました。その経過については、<u>資料1</u>となっています。 ・施設の耐用年数経過については<u>資料2</u>となっています。

2	
意見・要望	<p>●質問</p> <p>施設の改善の必要性を可視化された資料で説明すべきであり、次のような資料と合意形成のステップが必要と思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公共施設の用途別、コスト情報とストック情報。 2 個別公共施設の経過年数、維持管理見通しと必要な大規模改修、更新の費用推計。 3 個別公共施設に要する経費の財源の内訳（白書のデータを類別にまとめ可視化する） 4 中長期の財政シュミレーションでは、施設関連費用が明確にわかるようグラフ化する。また市債残高、基金の推移、経常収支比率の見通しと危険レベル及び市民負担への影響。 5 人口減少、少子高齢化による財政への影響と市の人口一人当たりの市職員数や人件費の推計。 6 ベンチマーク、同規模自治体との比較による市有施設保有状況や経費。 7 保育園、小中学校についても別途検討ではなく少子化に伴う子供一人当たりの費用推計から問題提起すべき。 8 改善案を複数提示し、それぞれの財政シュミレーションにより審議する。

対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1.2.3 については、公共施設白書に記載、または改修の試算で使用しております。施設毎の経過年数、耐震化、大規模改修見込みなどは資料2となっています。 ・ 4 財政シミュレーションについては、資料3のとおりです。 ・ 5.については、推計してありませんが、現在の人口一人当たりの職員数、人件費について資料4でお示しします。 ・ 6 については、公共施設白書の 185.186 P で一部公共施設について、類似団体との比較をしております。 ・ 7 については、少子化に伴う将来推計も含め、別途保育園、小中学校の審議会が設置されており、その審議会の検討状況を尊重する観点から別途検討としました。
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3	
意見・要望	<p>●質問</p> <p>行政改革推進委員全員の意見が無く残念でした。</p> <p>事前の資料配布は嬉しいが、資料のみの事前学習で意見を聞かれても多少無理がある、短い審議の中で公共施設の管理運営方針を決めてよいのか？事の重みを改めて痛感している。</p>
対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市では資料1の検討の経過のとおり、庁内で検討を重ねてきましたので、市の方針案についてご意見をお願いします。 ・ 廃止、集約化等現在の施設のあり方を変更する施設については、資料5の追加資料をお示しします。

4	
意見・要望	<p>●質問</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ぽんぼこの湯をはじめ、観光施設を一体的に管理運営していく組織があるのか 2 ぽんぼこの湯、斑尾の湯、もみじ荘の3温泉施設の今後の方向性について 3 オランチェをはじめとする市の施設の収益の流れはどうなっているのか、また市へ歳入として入ってくるのか、利益はどのくらい出てくるのか
対応	<p>1、2 3温泉施設をはじめ観光施設を一体管理する組織はありません、観光施設等で民間のノウハウにより効率的な運営が可能な施設については、指定管理者制度により、管理運営をお願いしています。</p> <p>3温泉施設は、近隣に民営温泉施設も多く、経営状況が厳しくなっており、存続としましたが、施設のあり方を早急に検討することとしています。</p> <p>3 オランチェについてはJA中野市の施設であります。隣接する信州中野観光センターは市の施設で指定管理者制度により（一財）産業公社に管理をお願いしています。</p> <p>市の施設の収益については、市直営施設は市の歳入として、指定管理者制度で主に利用料金制の施設は指定管理者の収入となっています。</p>